



## 平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月7日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6965 URL <http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 晝馬 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 嶋津 忠彦 TEL 053-452-2141  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	95,945	5.3	16,483	4.8	17,459	13.1	13,138	18.1
28年9月期第3四半期	91,157	1.0	15,727	△13.6	15,439	△20.0	11,124	△14.7

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 17,101百万円 (222.9%) 28年9月期第3四半期 5,296百万円 (△67.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	83.51	—
28年9月期第3四半期	69.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	234,152	181,459	77.2
28年9月期	217,300	169,716	77.8

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 180,833百万円 28年9月期 169,163百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	17.00	—	17.00	34.00
29年9月期	—	17.00	—	—	—
29年9月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,500	4.6	21,400	4.2	22,500	12.2	16,300	13.0	103.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年9月期3Q	167,529,968株	28年9月期	167,529,968株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	10,213,886株	28年9月期	10,213,758株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年9月期3Q	157,316,184株	28年9月期3Q	160,613,206株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が緩やかな増加基調となったほか、輸出が持ち直し、個人消費も雇用・所得環境の改善が継続する中で底堅さを増すなど、緩やかな回復基調の中で推移いたしました。しかしながら、新興国経済の先行き不安や欧米の政治動向の不確実性など、景気の見通しは依然として不透明な状況にあります。

このような状況におきまして、当社グループは、長年にわたり培ってきた当社独自の光技術を活かした研究開発を推進するとともに、顧客ニーズに応えた製品開発に努めることで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は95,945百万円と前年同期に比べ4,787百万円(5.3%)の増加となりました。また、利益面につきましても、営業利益は16,483百万円と前年同期に比べ755百万円(4.8%)の増加、経常利益は17,459百万円と前年同期に比べ2,020百万円(13.1%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,138百万円と前年同期に比べ2,013百万円(18.1%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [電子管事業]

光電子増倍管は、鉄鋼材料の成分を解析する装置に組み込まれる発光分析向けが減少いたしましたものの、医療分野におきまして、PETなどの核医学検査装置向けが、医療機関における買い替え需要等の高まりを受け堅調に推移し、高エネルギー物理学実験等の学術向けも増加いたしました。

イメージ機器及び光源は、産業分野におきまして、X線非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源の売上げが海外を中心に好調に推移したほか、アジア地域における半導体設備投資の活況を受け、半導体検査装置向けのキセノンランプが堅調に推移いたしました。また、精密機器を高精度に接着するUVスポット光源の売上げも好調に推移いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は36,003百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は12,609百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

## [光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、フラットパネルセンサが高性能・高品質が評価され、歯科装置市場の拡大に伴い主に欧州にて売上げを大きく伸ばしました。また、産業分野では、産業用ロボット等の制御などFA(ファクトリーオートメーション)分野においてフォトICやLEDの売上げが増加したほか、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサの売上げも好調に推移いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は44,345百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は13,336百万円(前年同期比7.5%増)となりました。

## [画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、生命分野やバイオ分野で用いられるデジタルカメラの売上げが海外において減少いたしましたものの、X線ラインセンサカメラの売上げが新製品の投入もあり食品検査用を中心に好調に推移いたしました。また、病理デジタルスライドスキャナにつきましても堅調に推移いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は12,600百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は2,533百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

## [その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント(その他)の売上高は2,995百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益は130百万円(前年同期比60.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、現金及び預金が9,166百万円、受取手形及び売掛金が1,894百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ11,471百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、製造用工場の新築に伴う建物及び構築物の増加などにより、有形固定資産が4,377百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ5,379百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16,851百万円増加し、234,152百万円となりました。

流動負債の主な変動は、1年内返済予定の長期借入金が2,976百万円、賞与引当金が1,893百万円それぞれ増加したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ7,904百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、長期借入金が3,113百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ2,794百万円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,109百万円増加し、52,693百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が7,780百万円増加したほか、為替換算調整勘定が3,421百万円増加したことなどから、当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ11,742百万円増加し、181,459百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月8日付で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=110円、1ユーロ=115円を想定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	74,503	83,669
受取手形及び売掛金	27,916	29,811
有価証券	1,000	—
商品及び製品	7,554	8,430
仕掛品	16,248	16,651
原材料及び貯蔵品	6,241	6,654
その他	7,232	6,957
貸倒引当金	△188	△193
流動資産合計	140,508	151,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,231	32,370
機械装置及び運搬具(純額)	10,070	10,343
工具、器具及び備品(純額)	3,762	3,896
土地	16,406	16,467
リース資産(純額)	195	193
建設仮勘定	4,625	5,397
有形固定資産合計	64,292	68,669
無形固定資産		
投資その他の資産	1,463	1,680
投資有価証券	2,446	3,017
繰延税金資産	6,638	6,496
その他	1,970	2,328
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	11,036	11,822
固定資産合計	76,792	82,171
資産合計	217,300	234,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,580	4,309
電子記録債務	8,880	9,875
短期借入金	2,183	2,570
1年内返済予定の長期借入金	218	3,195
未払法人税等	2,019	1,683
賞与引当金	3,613	5,507
その他	10,380	12,638
流動負債合計	31,876	39,780
固定負債		
長期借入金	6,844	3,731
退職給付に係る負債	7,118	7,332
その他	1,743	1,848
固定負債合計	15,707	12,912
負債合計	47,583	52,693
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	119,259	127,039
自己株式	△16,059	△16,060
株主資本合計	172,800	180,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	819
為替換算調整勘定	△2,921	499
退職給付に係る調整累計額	△1,170	△1,065
その他の包括利益累計額合計	△3,637	253
非支配株主持分	553	625
純資産合計	169,716	181,459
負債純資産合計	217,300	234,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	91,157	95,945
売上原価	44,580	48,242
売上総利益	46,577	47,702
販売費及び一般管理費	30,849	31,219
営業利益	15,727	16,483
営業外収益		
受取利息	163	125
投資不動産賃貸料	75	44
為替差益	—	531
持分法による投資利益	48	81
その他	346	381
営業外収益合計	634	1,164
営業外費用		
支払利息	71	99
不動産賃貸費用	57	49
為替差損	763	—
その他	29	38
営業外費用合計	922	187
経常利益	15,439	17,459
特別利益		
固定資産売却益	29	17
補助金収入	781	214
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	811	231
特別損失		
固定資産売却損	2	5
固定資産除却損	22	44
固定資産圧縮損	707	206
投資有価証券評価損	0	5
特別損失合計	732	261
税金等調整前四半期純利益	15,518	17,430
法人税等	4,356	4,239
四半期純利益	11,162	13,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,124	13,138



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	11,162	13,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	364
為替換算調整勘定	△5,732	3,420
退職給付に係る調整額	58	105
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	20
その他の包括利益合計	△5,865	3,910
四半期包括利益	5,296	17,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,313	17,028
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	34,333	41,251	12,415	88,000	3,157	91,157	—	91,157
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	924	660	9	1,593	685	2,279	△2,279	—
計	35,257	41,912	12,424	89,594	3,842	93,437	△2,279	91,157
セグメント利益	11,804	12,410	2,689	26,905	331	27,236	△11,509	15,727

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△11,509百万円には、セグメント間取引消去△925百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△10,584百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	36,003	44,345	12,600	92,949	2,995	95,945	—	95,945
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,319	656	22	1,998	428	2,427	△2,427	—
計	37,323	45,001	12,623	94,948	3,424	98,372	△2,427	95,945
セグメント利益	12,609	13,336	2,533	28,478	130	28,609	△12,126	16,483

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△12,126百万円には、セグメント間取引消去△1,119百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△11,006百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。